



河東

ふれあい



153号
発行元
河東地区コミュニティ運営協議会
広報委員会
TEL:35-1837 FAX:35-1864
http://katou-cc.com/

師走の風物詩 餅つき



子どもも大人もペッタン ペッタン つきたての餅に舌つづみを打ちました



くいえいと区 12月8日



須恵区 12月8日



天平台区 12月8日



城西ヶ丘区 12月21日



たんぽぽクラブの活動

第3回華道教室は、コスモス・カーネーション・ススキ・菊等15種類の草花を使用、カップやタンブラーに活けました。

子ども達の自由な発想で活けて、個性的に仕上がったと思います。

たんぽぽクラブとは…

河東西小学校4年生から6年生が参加するクラブ活動のひとつ
会員は今年度児童19人、先生2人、ボランティア3～4人
年間6回程度で今年度は華道教室、紙ひこうき、竹とんぼ、
たこ揚げ、2月は茶道教室の予定（河東西小学校 たんぽぽクラブ）



あそぼうDayの開催

12月14日(土)、河東コミセン多目的ホールで、2024年最後のあそぼうDayを開催しました。幼稚園児2人、小学生8人、保護者3人の13人が参加し、ボッチャ、輪投げ、けん玉、お手玉で2時間思いつき遊びました。

輪投げでは、1回4投で23点を出した女児がいて、みんな「すごい」と言って盛り上がり、ボッチャも説明を受けた後で、「あ～でもない、こ～でもない」と言いながら色んな投げ方を工夫して楽しんでいました。

2025年も実施しますので、みなさんの参加を待っています。

(地域学校協働活動推進員 村上秀二)



輪投げで遊ぶ

小麦粉を使った料理講習会 12月14日(土)

今、小麦の85%が輸入であり、私たちが口にしている小麦製品のほとんどが外国産ということだ。海外依存度の高さに驚かされる。

福岡県は国内2位の生産量ではあるものの、もっと生産と消費に力を入れるべきだと感じた。地産地消が大事だ。

当日の講習会に向け何度も話し合い、製粉メーカーの指導を仰ぎながら試作を重ね、レシピを作成した。

当日は製粉メーカーの手ほどきを受け、コツも伝授してもらった。粉それぞれの特徴も学び、強力粉で「ナン」薄力粉で「クレープ」が美味しく出来上がった。

小学生から高齢者まで19人の参加者で終始和気あいあい、楽しい雰囲気の中で終わることが出来た。
(健康福祉部会 食進会)



ボランティアのコミュニケーション力が支える 冬休み宿題Day

12月25日(水)、26日(木)の両日「冬休み宿題Day」を実施しました。今回からコミセンと河東西小学校の2か所で行うことができました。2日間合計で93人の参加者があり2か所開催の成果があったと考えます。

コミセン会場では中学生主体で進め、朝の会もティーチャー役も積極的にこなして新しい形が生まれそうです。宿題Day、3つの約束の一つである「めあてをもつ」それを達成するため真剣に頑張っていました。

河東西小学校会場ではボランティアスタッフとの「ふれあい、絆」が強く感じられました。またボランティアスタッフの方のご厚意で参加者にプレゼントがあり、子ども達はもちろんほかのスタッフも笑顔で終われたことを報告致します。

ボランティアの皆様、かとう学園のご協力に心より感謝申し上げます。
(イベント支援ボランティア 牧野将隆)



河東コミセン



河東西小学校